



P2 / PRESIDENT'S WORDS

会長のことば

WASLIの最近の活動状況について
デブラ・ラッセルWASLI会長の
メッセージをご覧ください。



P5 / ARTICLE

記事

エハブ・アルマドフンが
ガザ地区の手話について
報告しています。



P6 / RIGHTS

権利

EIが手話と手話通訳制度に
関する決議案を承認しました。



P8 / EVENTS

イベント

ろう者、手話学習、翻訳・通
訳学習に関する今後の行事を
ご確認ください。

WASLI newsletter.

no. 3 / 2016



WASLIの新しいロゴマークをご紹介します。
球形はWASLI会員の皆様を示し、手は手話と結束を意味します。
制作者はろうデザイナーでありアートディレクターのラビ・バサバンです。



President's word

会長のことば

Debra Russell

デブラ・ラッセル

Dear Members and WASLI Supporters,

WASLI 会員並びに支援者の皆様

WASLI 副会長のジョゼ・エジニウソンが中心となり編集された WASLI 会報 2016 年夏号に、素晴らしいコメントをお寄せいただきありがとうございます。楽しんでいただければ幸いです。また、投稿していただいた皆さん、面白い会報作りに貢献いただきありがとうございます！

私は7月に運よくいくつかの通訳者会議に参加して学ぶことができました。カナダ視覚言語通訳者協会 (AVLIC) の皆様、カナダのニューブランズウィックでの会議開催、おめでとうございます。沿海州のおもてなし、素晴らしかったです。

また、第4地域&テキサスろう者協会の皆様、ヒューストンでの地域会議でWASLIについて基調講演の機会をいただき、心よりお礼申し上げます。WASLIと世界ろう連盟 (WFD) との国際的協働や様々な国で共に手話通訳事業を構築してきたことに関心を示していただき、感謝いたします。皆様の多くがWASLI個人会員となり、世界中の仲間と才能を分かち合えることを期待しています！

9月には、WASLI理事と地域代表者が年に一度顔を合わせての理事会が、欧州手話通訳者フォーラム (efsli) 総会に先立ってアテネで開催されました。出席できなかった地域代表者はオンラインで参加し、WASLI8地域での様々な取り組みについて素晴らしい報告がありました。会議の一部を紹介すると

- WFD-WASLI国際手話通訳者認定：第2次募集が終了し、審査員が申請書を審査しました。委員はWASLI理事、WFD-WASLI認定通訳者、ろう者代表、音声言語・手話通訳指導者、WFDと欧州ろう者協会 (EUD) の理事たちです。
- 2019年WASLI会議：ミッチェル・アシュレーがパリ会議コーディネーターに就任しました。この会報に彼女の最新報告が掲載されています。2019年7月17~20日に光の都市へみんなで行くために、ぜひお金を貯め始めましょう！

アテネではフランス手話通訳者協会 (AFILS) 代表のステファン・バレにお会いして、大会の計画についてどの部分を担当いただけるか、2015年WASLI会議同様にどこをWASLIが運営すべきか話し合いました。AFILSと協力して再び素晴らしい学習の場を提供できるのを楽しみにしています！

- WASLI公式所在地：国際障害者同盟 (IDA) にご協力いただき、スイスで法的資格を申請する際にIDAの住所を使用させていただけることになりました。手続きには時間がかかりますが、承認の確保に必要な手順を学びながら進めていきます。
- WASLI教育ビデオ作製：シモーネ・シヨールがこの事業を担当してくれています。まず委員会がサンプルを製作し、提供方法や内容の実用性について会員から意見を求めます。
- 国連での通訳：国連関係の案件に国際手話と各国手話の通訳者を雇用する手続きに関して、WASLIとWFDは引き続きニューヨークとジュネーブの国連事務所と連携していきます。私たちはWFDとWASLIが認定した国際手話通訳者を使うよう今後も交渉を続け、各国のろう者協会が国内の手話通訳者の名簿を事前に提供できるよう取り組みます。
- 国際翻訳者の日：WASLI、国際翻訳家連盟 (FIT)、WFDは今年のテーマについて共同声明を発表しました。
- WASLIは、国際ろう者週間に対するWFDのメッセージを支援する一連のビデオ映像を撮影しました。
- WASLIは新鮮な印象の新ロゴマークを発表しました。スーザン・エマーソンが新ロゴ作製を担当してくれました。
- 各地域の出来事：イサベル・レイがコロンビア手話通訳者会議に出席；ナターシャ・マリコが南アフリカのろう者連絡会総会に参加し、3月にナイジェ

リアで全アフリカ会議開催を目指すグループの一員として活動；クリストファー・ストーンがWASLI地域代表としてefsli理事を務め、efsliを支援；efsliはアテネで総会を開催、会議主催者と次期理事会の皆様おめでとう；アンジェラ・マーレイが通訳者協会、ろう者協会、オーストラリアの事業者団体が共催したオーストラリアろう者会議に出席；梅本悦子がアジアの通訳状況に関する包括的調査について報告、今後アンナ・コマロワがロシア・コーカサス地域で同様の調査を実施予定。

私たちの有意義な取り組みの一つとして、通訳者協会と、誰をも受け入れる組織運営の必要性に関するWASLI声明の発表が挙げられます。この声明について意見を聞かせていただいた皆様、ありがとうございます。私たちは特定の国を名指ししたいのではありません。私たちに共通の通訳という職業にろう者が就くことを快く受け入れられるにはどうすればよいのか考えさせられるような、いくつかの国で生じた出来事に私たちが関心を持っていることに焦点を当てたいのです。先日の通訳養成講師会議で、アミー・ウィリアムソンが素晴らしい基調講演でCODA通訳者の視点に注目し、CODAとCODAでない通訳者が共に通訳養成や通訳実践を構築することの必要性を、ある一言を用いて強調しました。その言葉とは「一緒の方がいい」です。これは、ろう通訳者を正会員として受け入れ、ろう者に優しい方法で会議を行い、緊密に協力し合う、真に誰をも受け入れる方向性を見出すことが通訳者組織にとって必要だというWASLIの哲学でもあります。一緒なら私たちはより強くなれますが、バラバラの組織ではこの通訳という職業に欠かせない人間関係の橋渡しがほとんどできないということを、私たちは危惧します。

数名のドイツ人通訳者から私たちに意見が届きました。それは、ドイツの通訳者協会にはろう通訳者がおり、健聴通訳者と緊密に連携している、というものでした。さらに複数の国からも、健聴通訳者がより友好

的で開放的になるにはどうすべきかを考えさせられたと言われました。理事会ではこの意見を反映して声明を見直しました。しかし、健全で建設的なのはこうした対話や協議です。私たちの仕事にろう通訳が進出しているそれぞれの国で、ろう通訳者と健聴通訳者の間により緊密な絆を築くため私たち一人ひとりは何ができるのか？私たちの組織は、すべての会員に必要とされるどのような養成や支援を行うのか？会議の場で何が便利共通言語か？前向きな方向に導く解決策を見つけ、過去の問題を乗り越える方法はあるのか？

WASLIにはefsli同様に、協力し合って通訳を行うろう・健聴通訳者などで構成される、ろう通訳者に関する委員会があり、通訳の仕事の推進に向けて取り組んでいます。efsliろう通訳委員会は優れた養成を行っており、文書翻訳と同じ方法でろう通訳者と翻訳者がWASLIに対し国際手話通訳を提供しています。すべきことは山のようであり、協力し合うことで私たちの仕事に対するWASLI-WFDの取り組み方を具現化できます。私たちが専門家として成長し続けるにつれ、難しい協議が続き、それにより各国の通訳業界発展に取り組む通訳者、そして組織としての体験について、多様な考え方が浮き彫りとなることでしょう。

最後になりますが、2016年10月11～13日にシンガポールで開催される第5回（※国際部註：第7回）WASLIアジア会議に私を招待してくださった、アジア地域代表の梅本悦子にお礼を言いたいと思います。会議では16か国の（※国際部註：15カ国）通訳代表者が話し合い、WASLIに関する講演を行いました。アジア地域での悦子の活動と、成功に向けた献身ぶりに感謝します。また、10月14日の第28回WFDアジア地域事務局代表者会議開会式でコリン・アレンと私に基調講演をさせてくださった、WFDアジア地域事務局に感謝申し上げます。素晴らしい大会であり、私自身も講演や会議に参加する中で多くのことを学びました。現地では、ろう教育や通訳養成についての政府代表者との話し合いに、WFDとWASLIも列席しました。主催者であるシンガポールろう協会に対しお祝い申し上げます。この行事を通して、熱心で小さなボランティアグループには非常に大きなことも成功させる力があると証明されました！ヤン・ミンの統率力と、あの美しい街に滞在期間中にボランティアの皆様からいただいた信じられないほどのおもてなしに感謝します。いつも、会長である私やWASLI理事に対する皆様の惜しみない支援には感謝しています。そしてボランティアとしてWASLIに奉仕してくださる皆様へ感謝します。通訳の職業に対する認識を高めるため共に取り組む中で、WASLIがあなた方の世界にもたらす価値を

見出しただけであれば幸いです。WASLIの次期会員年度は2017年1月1日に始まりです。ぜひ個人会員を更新し、4人のお友達に入会を勧めてください！詳しくは、この会報のWASLI会員情報をご覧ください。

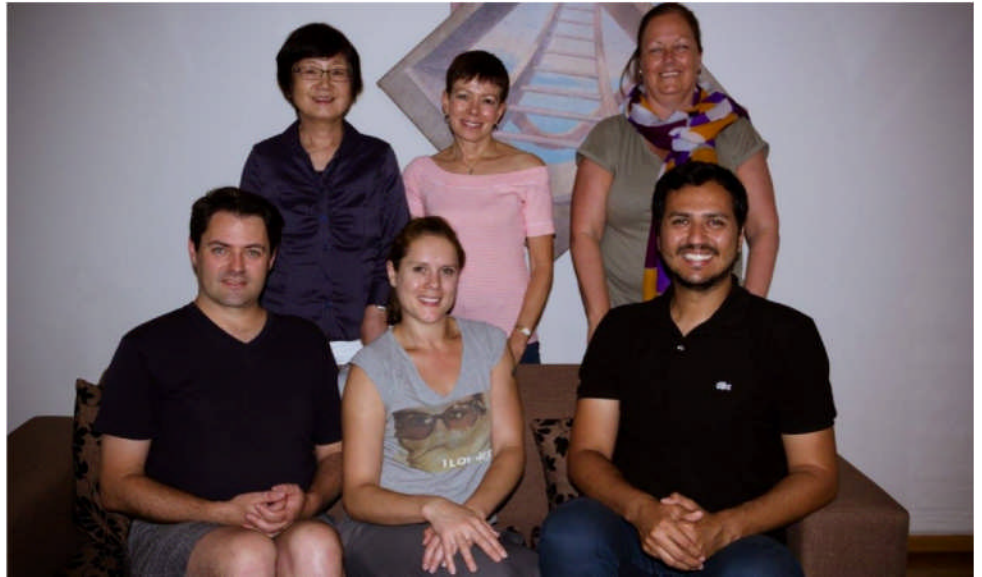
president.wasli@gmail.com. までいつでもご連絡ください。

敬具

WASLI Board Meeting WASLI 理事会

Two full days of work in Athens - Greece

ギリシャ、アテネで丸2日間



9月7～8日、WASLI理事はギリシャのアテネで会議を開きました。途中からアンナ・コマロワ（ロシア・コーカサス地域代表）、クリス・グルームス（資金調達担当）も出席し、スカイプではアンジェラ・マーレイ（南洋州・オセアニア地域代表）、ナターシャ・マリコ（アフリカ地域代表）も参加しました。理事会ではWASLIの活動や今後の事業について盛んに討議が行われました。

理事会終了後には、理事全員が欧州手話通訳者フォーラム（efsli）総会に参加し、

デブラ・ラッセルがWASLIについて講演しました。そしてギリシャ滞在中に、WASLIとefsliの理事は夕食を共にしました。世界中で手話通訳の仕事が発展するよう、efsliと協力できることがとても楽しみです。

次回の顔を合わせたのWASLI理事会は、2017年7月に第3回ラテンアメリカ手話通訳者会議の前にパナマで開催予定です。それまでの間、理事会は月に一回ビデオ会議を行います。



Working at conferences? Consider joining AIIC 会議で通訳する？AIICへご入会を

OPINION
ご意見

By Maya de Wit, Coordinator AIIC Sign Language Network
マヤ・デ・ウィット、AIIC手話ネットワークコーディネーター
contact@mayadewit.nl

手話通訳者と音声言語通訳者が、同じ国内・国際会議の場で仕事することは少なくありません。これまでは、それぞれ別の機関から依頼され、別のチームに所属し、接点や協力関係もほとんどないまま仕事をするのもしばしばでした。国際会議通訳者協会（AIIC）会員である音声言語・手話通訳者たちは、協力関係の強化を目指しています。手話と音声言語の通訳者全員が協力し合えば、通訳過程、最終的には通訳の質が向上します。

国内会議や国際会議でよく通訳する手話通訳者の方は、ぜひAIICへの入会をご検討下さい。AIICは1953年に設立され、世界100か国以上に3,000人以上の会員がいます。手話通訳者が会員になったのはまだ最近のことです。手話通訳者に対してAIICの重要性を示すように、AIIC内に手話ネットワーク（SLN）という委員会が設けられました。2016年5月に私はSLNのコーディネーターに就任しました。SLNは26名の手話および音声言語通訳者で構成され、AIIC入会を希望する手話通訳者に情報や支援を提供し、音声言語通訳者の間で手話通訳の認知度を上げるために取り組んでいます。

全ての通訳者の関心を高め、協力関係を拡大するため、AIICのSLNでは2つのガイドラインを策定しました。一つは混成チームでの通訳について、もう一つは音響技師向けです。ガイドラインは、音声言語通訳者に対し、混成チームで手話通訳者と一緒に仕事をする際の留意点と手話に関する一般情報を示しています。そして、音響技師には技術的要件を示しています。

またAIICは、労働基準と料金に関して独自の立場を取っています。AIICは国連、欧州連合、欧州評議会、その他の国際組

織にとって唯一の交渉相手です。AIICがこうした組織と結んだ契約は、調印した団体ならびに、AIIC会員であるかないかに関わらず、採用された通訳者にとって拘束力があります。調印した団体は、報酬や労働条件について契約に従わなければなりません。それらの団体に向けて通訳する手話通訳者も、やはり契約の管理下に置かれます。AIICのSLNは、既存の契約でも、該当する場合には手話通訳者について明記されることを望んでいます。またこうした契約は、全ての会議通訳場面の労働条件や報酬の向上を後押しする、論理的根拠としても活用できます。影響力をより強くするためには、より多くの手話通訳者にAIIC会員になってもらうことが必要です。

AIICへの入会に関心をお持ちの方は、AIIC-SLNのホームページをご覧ください。
<https://sites.google.com/site/newsnetworksite>



SHORT NEWS 短信

国際手話チーム：WASLI国際手話翻訳チームが選出され、アルカジー・ベロゾフスキーが育児休暇のため、ドイツのクリスチャン・ラスマンがチーム代表を務めてくれています。2017～2019年の国際手話ボランティア通訳者は、ジョージア・ウェーレン（カナダ）、カリーン・メイシニャック（アメリカ）、ナタリス・グリズロワ（ロシア）、リナ・カンカス（リトアニア）、ナイジェル・

ハワード（カナダ）、アルカジー・ベロゾフスキー（アメリカ）が担当します。

会員調整担当について：ロビン・デムコが復帰し、再び入会手続きを担当してくれることになりました。レベッカのこれまでの貢献に感謝します。



Call for Volunteers / ボランティア募集

TRANSLATORS 翻訳者

WASLIは多様な言語でニュースや情報を提供したいと考えています。そのため、WASLIを支援して下さる熱心な翻訳者を求めています。文書翻訳部では、英語→ヒンディ語、ロシア語→ドイツ語の翻訳者を探しています。文書翻訳に関しては、氏名、メールアドレス、翻訳可能言語（上記以外の言語も可）、各言語の習熟度を明記の上、translations.wasli@gmail.comまでメールしてください。

By Ehab Almadhoon エハブ・アルマドフン

ehab.almadhoon@atfaluna.net or ehab_almadhoon@yahoo.com

ガザの人口は先週 200 万人となりました。この人口によってガザは世界で最も凝縮された土地とされています。このために貧困や健康問題など多くの問題が起こっています。

ガザ地区は世界で最も多くの障害者を抱える地域のひとつとなっています。リハビリテーションに関しては、ガザには組織的な団体がなく、公的機関からも聴覚障害を含む障害者に対してはほとんど注目もされておらず、サービスは主に NGO が頼りです。現在までガザでは聴覚スクリーニングは主に臨時的な企画で行われるのみで定期的な検査はありません。0～5歳児のスクリーニング率は最高でも 10%未満となっており、これが聴覚障害の発見の遅延を招いています(通常 3 歳以降)。世界的には、スクリーニングは選択性から必須プログラムに変化しています。全ての子供が退院前に生まれた病院で受診しています。文献によると、アメリカでは聴覚障害が発見される確率は低い(30%未満)とされており、ほとんどの州で出生時スクリーニングを行っています。

ガザ地域では、重度の聴覚障害を持ち手話をコミュニケーションに利用する人数は 10,000 人を超えています。しかしこの数字は公式なものではなく、実際はもっと多いことが想像されます。現在より手話人口が少なかった時代にいくつかの団体で手話が使われ始めました。

手話の発展背景

パレスチナの手話の起源はシリア、レバノン、ヨルダンで、ほとんどのパレスチナ領土はイスラエル占領下にあり、手話の発展や専門性の追求はほとんど絶望的です。結果としてろう者や難聴者のいる家族はホームサインを使用していました。ろう者やその家族がコミュニケーションツールとしての必要性や自分たちのアイデンティティーの確立を自覚するまで手話は公的なものではありませんでした。

その後、手話通訳者は正式な養成を受けることなく非公式にろう者や難聴者と活動を始めました。ほとんどの通訳者は家族にろう者がいる人たちでした。ろう者の子供または兄弟の多くがこれを担っていました。これらの通訳者は-ろう者と共に-ろう者の教育機関やリハビリ組織の設立に関わってきました。通訳技術は満足できるものではなく、その技術や能力を向上するための支援も養成を受ける機会もありませんでした。彼らは、ろう者自身によって作られたホームサインをほとんどそのまま使用していました。

最近になって、いくつかの NGO がろう者やその家族ともに国際的組織とデフコミュニティの間をつなげ、これが彼らの手話にとって大きな飛躍となりました。

手話の発展

NGO とろう者の団体が手話の統一に動きだし、これを公式パレスチナ手話と名付けました。最初の手話辞典が 1992 年に出版されました。それは簡素なもので、間違いも多く、手話も変更や検討を要しました。しかし、手話の発展と専門家の協働のためには大きな一歩となりました。

ガザ地区の現状やガザ地区とヨルダン川西岸のパレスチナ分断の状況により、パレスチナ手話の統一はろう教育者やリハビリ関係者にとって難しい問題となっていたため、2000 年の初めに出版され統一されたパレスチナ手話辞典は、ほとんど全てのろうリハビリや教育関係 NGO に利用されました。これは初めての正式なパレスチナ手話辞典で、ろう教育現場、リハビリ関係組織の全ての人々からの賛同を得ています。

パレスチナ手話通訳者

ガザ地区とヨルダン川西岸地区の手話通訳者のための正式な養成コースが 2006 年に初めて行われました。このコースは、カタールでアルジャジーラグループのメディアで働いていたアラブ人専門家によって選ばれた地元のろう教師グループに対して行われました。これは、ガザとヨルダン川西岸で開催された初めての正式な養成でした。この養成では技術的な内容や通訳者の特徴などの学びではなく、手話の概念について学びました。

1999 年に最初の手話通訳者であるイハブ・アル・マドホウン氏が公共パレスチナテレビのニュースに通訳者として働き始めました。これはろうコミュニティと手話通訳者ニーズに対する啓蒙として大きなステップの一つとなっています。公共パレスチナテレビや他の地元テレビ局でも番組内で手話を組み入れ始めています。

パレスチナ手話の現状

パレスチナ地域のろう者は自分たちの権利と責任についての認識を持ち始めてから、集まり活動をするための統一組織やクラブを設立しています。このことにより、ろう者のコミュニティや存在に対する注目を集めています。ろう者の受容に対する社会認知のために、ろう組織や代表機関が熱心に活動を続けています。ろう者統一組織や団体は、パレスチナ手話の周知にも貢献しています。各地の大学などでも手話に関するさまざまな講義を取り入れ始めました。銀行や公的政府系または非政府組織も同様にろう者との会話を可能にしサービス提供するために、手話コースを職員に対し設けています。

手話の公的な養成、認定システムはまだ整っておらず、計画中です。これも地元の手話に限定されており、国際手話についてはまだ手が付けられていません。手話のさらなる発展を目指すパレスチナの専門家は、世界に目を向け他のろう文化や手話についても学んでいます。

最終的に、ここ 2、3 年に起こった発展によっても法整備や手話通訳の基準については取り組まれていません。パレスチナ地域では手話通訳は専門職としてまだ認知されていません。手話通訳と専門通訳者の基準は公的なものではなく、組織ごととそのニーズに見合った形になっています。

7th Meeting of Sign Language Interpreters in Asia 第7回アジア手話通訳者



10月11日、12日にシンガポールで第9回(※国際部註:第7回)アジア手話通訳者会議が開催されました。バングラディシュ、カンボジア、香港、インド、インドネシア、イラン韓国、マカオ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム、日本から参加者が集いました。WASLIからは会長のデブラ・ラッセル氏と会議運営、進行、議事録を担ったアジア地域理事の梅本悦子氏が出席しました。並行して第28回WFDアジア代表者会議も行われました。

European Resolution on Sign Language

手話に関するヨーロッパ決議

11月23日、フランス、ストラスブールにあるヨーロッパ議会で、手話と手話通訳者に関するヨーロッパ決議が採決されました。これは、ろうヨーロッパ議員(MEP)であるヘルガ・スティーブンス氏、アダム・コーサ氏を含む数人の議員が書いたもので、手話通訳を通したろう者へのアクセシビリティ提供の重要性、並びにEUと国レベルでの手話通訳提供状況の改善のために必要な施策を指摘しています。この採決に議会議員の圧倒的な支持を得られたことは非常に喜ばしいです。賛成:661、反対6、棄権23。

Multilingualism and equal rights in the European Union: the role of sign

EU内の多言語使用と平等: サインの役割

9月28日、ヨーロッパ議会議員のヘルガ・スティーブンスによる歴史的な会議がブリュッセルのヨーロッパ議会で開催されました。この会議はEU内での多言語使用、平等、視覚言語の役割に関するものでした。832名以上の参加があり、大多数がろう者で31のヨーロッパ諸国と地域の手話、1つのヨーロッパ外手話、24のEU音声言語が使用されました。全ての通訳サービスを145人の通訳者が担いました。多くの発言者が手話の認知や、以前の議会で関連決議、EUやヨーロッパ議会で専門手話

通訳者の状況などについて議論しました。

EUの立場から欧州ろう連合(EUD)に対して:「全てのEU加盟国での手話の完全な認知に向け強力な起爆剤となり、現行の国や地方レベルの法律や慣行が必要な改定をされることを望みます。このようにしてのみ、手話通訳者は進歩でき、新しい通訳者の適正な養成が保障され、ヨーロッパのろう者は他の人々と平等に人生の全ての局面においての完全参加が可能となります。」



©EUD

あなたの■には■レベルの通訳者協会がありますか？

または自■のろう者組織からのサポートを得て設立を考え中ですか？

もしあてはまるようでしたら、私たちはあなた方を■会員として歓迎します。

2017年度の新規メンバーに、または更新を。

<http://wasli.org/membership>



Join us 是非、ご一緒に！



Colombia Held the First National Meeting of Sign Language Interpreters and Deaf-blind Interpreters

コロンビアで初の手話通訳者と盲ろう通訳者の全国会議を開催

10月6日～8日に第1回全国コロンビア手話通訳者、盲ろう通訳者会議がコロンビアのペレイラで開催されました。この会議は全国翻訳者・通訳者協会とコロンビア盲ろう通訳者会 (ANISCOL) が地域協会の ASOINS, ASINTEC, ASIVAL, ASIR, ASOISAN AND ATILS と共に運営しました。300名以上の通訳者やガイド通訳者が参加しました。この会議は WASLI の支援、ラテンアメリカ地域代表のイサベル・レイ、WFD 南アメリカ地域代表

のヘンリー・メヒアの協力を得て、またろうあ協会 (FENASCOL)、コロンビア盲ろう協会 (SURCOE)、教育省、国立ろう研究所 (INSOR)、国立学習センター (SENA) のような政府組織からの参加もありました。

強調すべきは、2017年の最初の契約の一つにもなった、ANISCOLとFENASCOL間での、通訳者とろうコミュニティの国レベルの関係促進を目的とした初めての協働声明調印に至ったことです。そのためのプレゼンテーション

では、通訳者と盲ろう通訳者のための倫理綱領を FENASCOL と共同で作成することとなっています。WASLI 前副会長で ANISCOL 代表であるホセ・ルイス・ブリエバは、「これは歴史的なできごとです。わが国で300人以上の通訳者が一堂に会し専門について討論しました。さらにコロンビアろう者によりよいサービス提供するためのろうあ協会との共同声明調印という成果も加えることができました。」と述べました。



Separate Deaf Interpreter Associations or Inclusive and Collaborative Interpreting Associations for All?

ろう通訳者協会とは分離するか、または包括協働的全通訳者協会か？

多くの国が、ろう手話通訳者と通訳者コミュニティとの関係において WASLI の見解を模索しています。最近受け取った質問の一つは、ろう通訳者協会の分離の必要性についての意見です。

この質問に対して WASLI は明確な立場を確立しましたので、みなさんとシェアしたいと思いません。

WASLI は手話通訳者の専門家同士の協働に大きな価値を置いています。毎日、私たちは多くの人と共に、そして多くの人のために活動しています：ろう者、聴者、ろう通訳者、聴通訳者、研究所、など。

通訳者としての立場でない時には、私たちはまた自分の専門コミュニティのメンバーでもあります。このコミュニティでも通訳者チームまたは通訳者組織と同等のメンバーとしてろう通訳者、聴通訳者と出会います。

多くの国が、ろう手話通訳者と通訳者コミュニティとの関係において WASLI の見解を模索しています。最近受け取った質問の一つは、ろう通訳者協会の分離の必要性に関する見解の模索です。この問題はギリシャのアテネでのヨーロッパ手話通訳者フォーラム (efsl i) 総会 (2016 年 9 月) でも efsl iDI (ヨーロッパレベルのろう通訳者代表組織) から出されました。

WASLI はそれぞれの国の地域的情実や文化的影響などを聞き取るような立場ではありません。しかし、理事や地域代表者に承認された見解が以下のようにあります。(2016 年 9 月承認)

WASLI は協働モデルを推進しています。聴者とろう両方が加盟している手話通訳者の協会は世界中にあります。ろう通訳者もそこで活躍しており、会議の場は現地の音声、視覚言語ともに可能で、重要な問題については両言語でメンバーへのコミュニケーションをします。これらの協会はろう、聴通訳者ともにお互いに学びあうことが多くあるとしており、全ての通訳者を組織に加入させ活動を共にしています。また、通訳者特有のニーズも把握しており、聴、ろうそれぞれの養成もしています。しかし、この協会はろうと聴通訳者が平等に加盟しています。

聴とろう通訳者を平等に会員として受け入れ、協働を取り入れている手話通訳者協会があることを WASLI は確認しています。しかし、世界にはろう通訳者のコンセプトを受け入れず、その活動を共にしていない協会もまだ残っています。おそらく会議は音声言語のみで進められ、意識的または無意識的に聞く能力に特別感を抱いています。そして、ろう、聴通訳者チームの協働により特別なサービスを提供できる機会があることは明確であるにもかかわらず、ろう通訳者とは協力しない道を選んでいます。

その結果のひとつとして、ろう通訳者協会の危機的状況があります。いくつかの国ではろう通訳者が同僚の聴通訳者から平等に見られていないと感じています。歓迎されず、協会に入会できません。ドイツでこのような状況が続きましたので、ろう通訳者が最近自分たちの協会を立ち上げました。WASLI 会長はドイツのろう通訳者協会初代会長と会い、ろう通訳者の体験や別々の協会を立ち上げるに至った経緯を知る機会がありました。数名の聴通訳者には不平等で閉鎖的な感情があり、協働を難しくしているという話でした。このような進展に基づき専門性の未来を考慮すると、WASLI として、この声明を強調したいと思えます。我々は、ろう通訳者を全面的に受け入れ国内手話使用による情報保障とともに真摯に共に活動するよう通訳者協会に対して強く求めたいと思えます。

協働によって、我々は手話通訳者コミュニティに対しアドバイスも可能になります。仲間を分断することは、専門性を育てるために必要な関係性を築く助けとはなりません。

EVENTS イベント

ARGENTINA アルゼンチン
IAPTI 4th International Conference
IAPTI 第 4 回国際会議
Buenos Aires ブエノスアイレス
2017 年 4 月 22 日～23 日
HP: www.iapti.org

NIGERIA ナイジェリア
African Federation of Sign Language Interpreters Conference
アフリカ通訳者連盟会議
Abuja アブジャ
2017 年 3 月 13 日～17 日
HP: afsl i.org

UNITED STATES OF AMERICA アメリカ
Symposium on Signed Language Interpretation and Translation Research
手話通訳者、翻訳研修に関するシンポジウム
Washington, DC ワシントン DC
2017 年 3 月 31 日～4 月 2 日 HP:
<http://facebook.com/GallaudetCAITR/>

PANAMÁ パナマ
3rd Latin American Sign Language Interpreters and Deaf-blind Interpreters Meeting 第 3 回ラテンアメリカ手話通訳者、盲ろう通訳者会議
Panama City パナマシティ
2017 年 7 月 17 日～21 日
E-mail: latinamerica.wasli@gmail.com

AUSTRALIA オーストラリア
XXI FIT - International Federation of Translators World Congress
Brisbane 第 21 回 FIT-国際通訳者連盟世界会議
2017 年 8 月 3 日～5 日
HP: <http://www.fit2017.org>

DENMARK デンマーク
8th Deaf Academic Conference
第 8 回ろう者アカデミック会議
Aarhus オーフス
2017 年 8 月 10 日～12 日
HP: <http://www.dac2017.com/>

FRANCE フランス
EFSLI 2017 - AGM & Conference
EFSLI2017 総会、会議
Toulouse トゥールーズ
2017 年 9 月 8 日～10 日

WASLI Conference WASLI 会議
Paris パリ
2019 年 7 月 17 日～20 日
HP: www.wasli.org

XVIII World Congress of WFD
第 18 回 WFD 世界ろう者会議
Paris パリ
2019 年 7 月 23 日～27 日
HP: www.paris-wfd2019.org

GALLAUDET UNIVERSITY

SECOND SYMPOSIUM
SIGNED LANGUAGE
INTERPRETATION & TRANSLATION
RESEARCH

research
interpretation
translation
sign language
inspire
knowledge
scholarship
positive advance
discover
contribute
traduzir
translate
understanding
findings
share
apprendre
global
video
grow
learn

MARCH 31
~ APRIL 2 2017
GALLAUDET UNIVERSITY
WASHINGTON, DC

symposium@gallaudet.edu
@GUCATR

III Encuentro Latinoamericano de Traductores e Intérpretes en Lengua de Señas y Guías Intérpretes para Sordociegos

III ELATILS WASLI - PANAMÁ 2017

“Fortaleciendo el movimiento asociativo de traductores e intérpretes y guías intérpretes en lengua de señas de latinoamérica”

Ejes Temáticos

- Derechos Humanos: Rol del Intérprete
- Accesibilidad: Servicios y Apoyo
- Formación: Educación Superior
- Participación Ciudadana: Movimiento Asociativo de Sordos e Intérpretes
- Investigación e Innovación: Libros, Estudios y Proyectos
- Internacionalización: Informes de Países, Cooperación Internacional y Trabajo Conjunto
- Eventos Culturales y Promociones Turísticas

Del 17 al 21 de julio de 2017

Patrocinan:

このニュースレターに掲載の見解は必ずしも世界手話通訳者協会の見解を表しているものではありません。編集者、WASLI執行部および外部からの協力者でWASLIニュースレターを作成しています。WASLIは提供する情報が正当なものであることを保障します。投稿された文を編集する権利を有しています。WASLIは掲載内容および意見の正しさは保障の責を負いません。掲載された情報の転用の際は引用をつけてください。WASLIの公式画像を使用する際の許可申請、またメールアドレスの変更連絡は、secretary@wasli.orgまで。

WASLI EXECUTIVE BOARD WASLI理事

Officers: Deb Russell (President); José Ednilson Souza Junior (Vice President); Isabelle Heyerick (Secretary); Susan Emerson (Treasurer)

Regional Representatives 地域代表: Angela Murray (Australasia & Oceania); Natasha Maliko (Africa); Monica Punjabi and Etsuko Umemoto (Asia); Desanka Zizic (Balkans); Isabel Rey (Latin America and Caribbean); Liz Mendoza (North America); Igor Bondarenko & Anna Komarova (Transcaucasia & Central Asia); (Europe); Christopher Stone.

WASLI VOLUNTEERS WASLIボランティア

Deaf Interpreter Advisor: Nigel Howard
WASLI Membership Coordinator: Rebecca Thurrowgood
Social Media Coordinator: Suzanne Ehrlich
WASLI Translations Coordinators: Michelle Chang (written translations), Christian Rathmann and Arkady Belozovsky (signed translations)
Web: Patrick Wiche & Patrick Galasso
Newsletter Editor: Open
Fund Development Committee: Chris Grooms & Bibi Dalacey-Mould
Educational Video Modules: Simone Scholl

FOLLOW US



www.wasli.org

CONTACT US

WASLI Office
7/211 Wellington Street
Collingwood Victoria 3066 - Australia



WASLI

World Association of
Sign Language Interpreters